

# ダイワ・ブラジル・リアル債α (毎月分配型) ースーパー・ハイインカムー α50コース / α100コース

&lt;3254&gt; &lt;3255&gt;

(α50コース)追加型投信/海外/債券  
(α100コース)追加型投信/海外/債券

第114期	2024年8月19日決算	第117期	2024年11月18日決算
第115期	2024年9月17日決算	第118期	2024年12月17日決算
第116期	2024年10月17日決算	満期償還	2025年1月17日償還

## 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、ブラジル・リアル建債券へ投資するとともに、通貨のオプション取引を組み合わせた通貨カバードコール戦略を構築し、オプションプレミアムの獲得ならびに信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしており、信託期間中につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、謹んで運用状況と償還の内容をお知らせいたします。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

### α50コース

償還時	基準価額	1,594円94銭
	純資産総額	49百万円
第114期～償還期	騰落率	△21.2%
	分配金合計	150円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

### α100コース

償還時	基準価額	1,093円88銭
	純資産総額	289百万円
第114期～償還期	騰落率	△21.8%
	分配金合計	75円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先



コールセンター 受付時間 9:00～17:00 (営業日のみ)  
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、  
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

◇SKU0325420250117◇

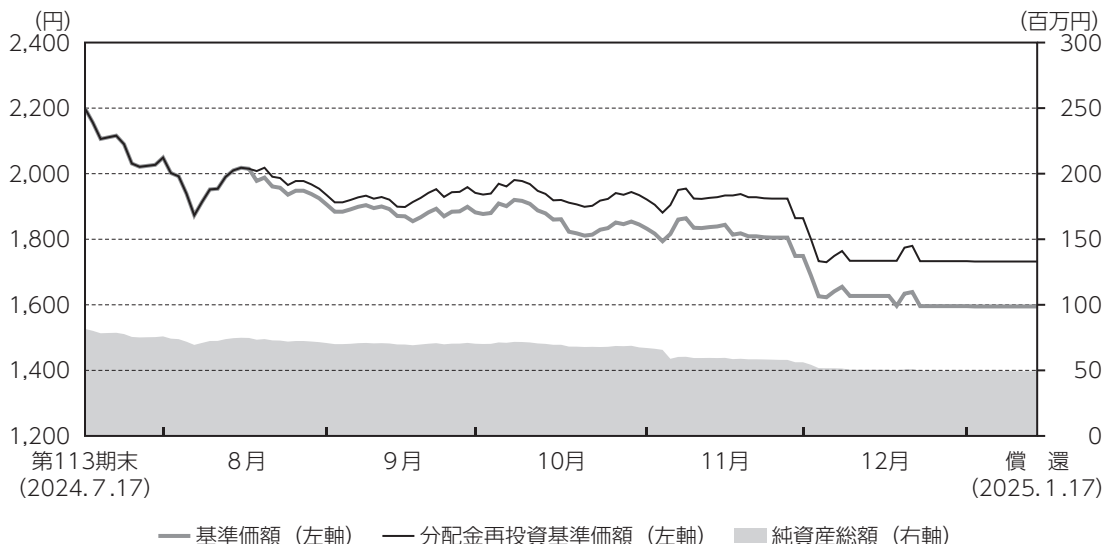
「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法  
上記のURLにアクセス → ページ下方の「償還済みファンド(運用報告書)」を選択 → リストから当ファンドの「一覧」をクリック → 目的の運用報告書(全体版)を選択

α50コース



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### ■ 基準価額・騰落率

第114期首：2,199円

償還時：1,594円94銭（既払分配金150円）

騰落率：△21.2%（分配金再投資ベース）

#### ■ 基準価額の変動要因

ブラジル・リアル建ての債券に投資し、通貨カバードコール戦略（※）を構築した結果、債券からの利息収入やオプションのプレミアム収入はプラス要因となりましたが、債券価格の下落やブラジル・リアルが対円で下落（円高）したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。

※ブラジル・リアルの円に対するコール・オプション（買う権利）を売却し、オプションのプレミアム収入の獲得をめざす戦略

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第114期～償還期 (2024.7.18～2025.1.17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	11円	0.620%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は1,825円です。
(投 信 会 社)	(4)	(0.220)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(7)	(0.387)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(0)	(0.013)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	1	0.048	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投 資 信 託 受 益 証 券)	(1)	(0.048)	
有 価 証 券 取 引 税	－	－	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	－	－	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
合 計	12	0.668	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

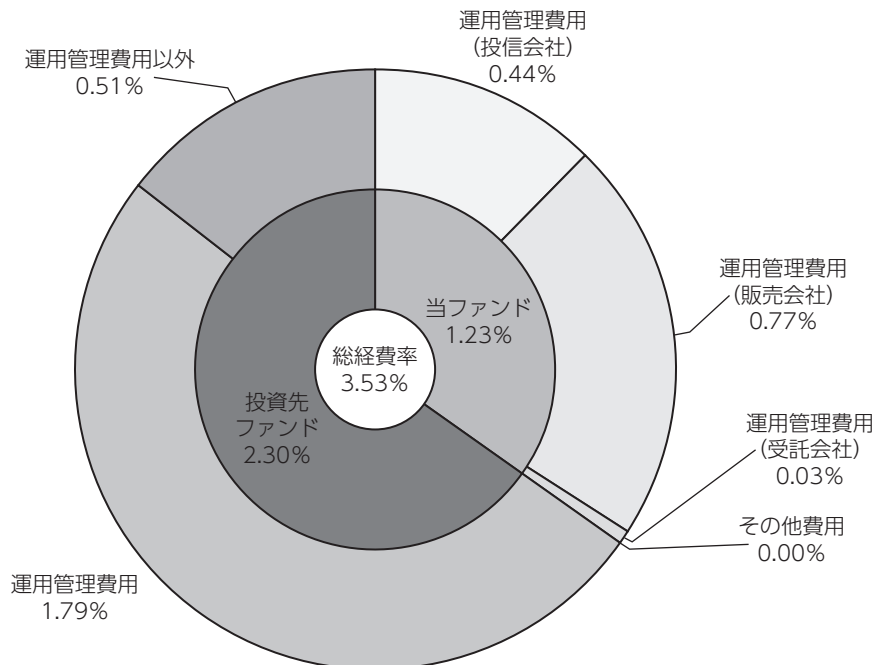
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

### ■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は3.53%です。



総経費率 (①+②+③)	3.53%
①当ファンドの費用の比率	1.23%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1.79%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.51%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

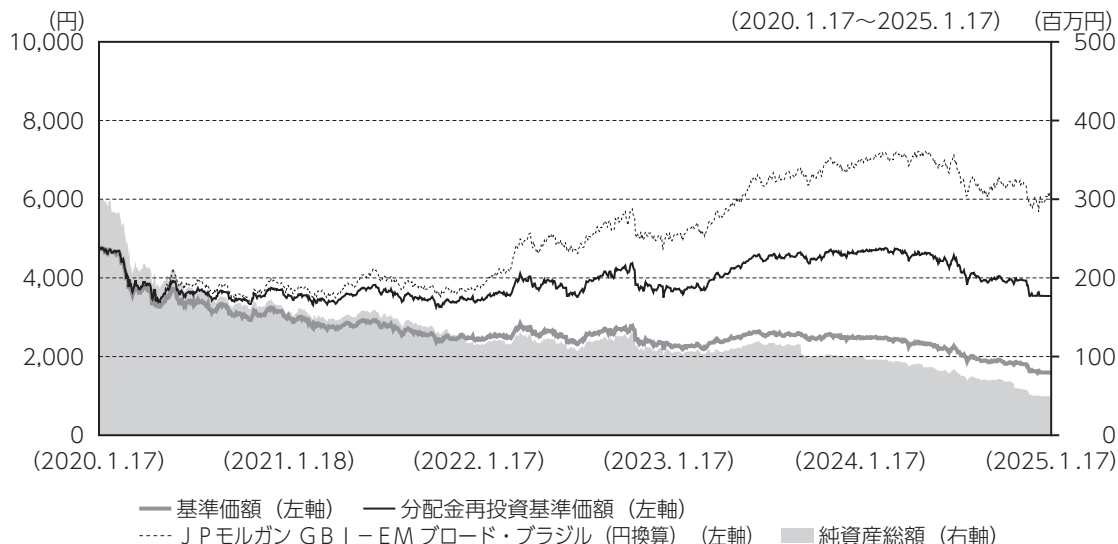
(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2020年1月17日の基準価額をもとに指数化したものです。

\*参考指数はJ Pモルガン GBI-EM ブロード・ブラジル (円換算) です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

	2020年1月17日 期初	2021年1月18日 決算日	2022年1月17日 決算日	2023年1月17日 決算日	2024年1月17日 決算日	2025年1月17日 償還時
基準価額 (円)	4,759	2,973	2,426	2,299	2,467	1,594.94
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	600	460	360	360	330
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△25.4	△3.4	9.4	24.2	△24.1
J Pモルガン GBI-EM ブロード・ブラジル (円換算) 騰落率 (%)	—	△21.4	1.2	31.8	39.9	△13.3
純資産総額 (百万円)	300	155	114	107	99	49

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) J Pモルガン GBI-EM ブロード・ブラジル (円換算) は、J Pモルガン GBI-EM ブロード・ブラジル (ブラジル・リアルベース) をもとに大和アセットマネジメントが円換算したものです。J Pモルガン GBI-EM ブロード・ブラジル (ブラジル・リアルベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は最近で知り得るデータを使用しております。

## 設定以来の投資環境について

(2015.1.26～2025.1.17)

### ■ブラジル債券市況

ブラジル債券市場の金利は上昇（債券価格は下落）しました。

ブラジル債券市場では、当ファンド設定日から2016年初旬にかけて、政府高官を巻き込んだ大手石油会社ペトロブラスの汚職問題の発覚や、財政悪化懸念の高まりなどから、金利は上昇しました。2016年前半から2018年前半にかけては、ブラジル中央銀行が利下げを実施したことに加え、財政再建への期待が高まったことなどから、金利は低下（債券価格は上昇）しました。しかしその後は、大統領選挙に対する不透明感や、トラック運転手らによる大規模なストライキによるインフレ懸念を背景に、金利は上昇しました。2018年後半以降は、大統領選挙でボルソナロ氏が勝利し新政権への期待が高まったほか、世界的な低金利・低インフレ環境により、ブラジル中央銀行も利下げを再開したことなどを背景に、金利は低下しました。しかし2021年以降は、原油価格の上昇や新型コロナウイルスの感染拡大を背景とした供給制約などから、世界的にインフレ圧力が高まり、ブラジルでも利上げが実施されたことなどから、金利は上昇しました。

### ■為替相場

ブラジル・レアルは対円で下落しました。

当ファンド設定日から2016年初めにかけては、政治家の汚職問題や中国の景気減速懸念が高まったことなどから、市場のリスク回避姿勢が強まり、ブラジル・レアルは対円で下落しました。その後は、原油価格が底打ちし株式市況が上昇するなどリスク回避姿勢が和らいだほか、ルセフ元大統領の弾劾手続きが進展して政権交代への期待が高まったことで、ブラジル・レアルは対円で上昇（円安）しました。2017年から2020年末にかけては、国内の景気悪化懸念や米中貿易摩擦への懸念が高まったことに加え、2020年前半には新型コロナウイルスの感染拡大により市場のリスク回避姿勢が強まったことから、ブラジル・レアルは対円で下落しました。しかし2021年以降は、世界的に利上げが実施される中で日本と他国との金利差が拡大し、円安が進行したことなどから、ブラジル・レアルは対円で上昇しました。

### ■為替ボラティリティ相場

当ファンド設定日から2016年初めにかけては、政治家の汚職問題や中国の景気減速懸念が高まったことなどから、市場の警戒感が高まり、ブラジル・レアルの対円インプライド・ボラティリティ（※1）は上昇しました。2016年前半から2018年前半にかけては、株式市況が上昇したことや政権交代への期待が高まったことなどから、市場の警戒感が後退し、ボラティリティは低下しました。2018年半ばには、大統領選挙への警戒感からボラティリティは一時上昇しましたが、大統領選挙後は、市場の警戒感も和らいだことでボラティリティは低下し、その後は横ばいでの推移が続きしました。2020年前半に入ると、新型コロナウイルスの感染拡大を背景に市場の警戒感が急速に高まり、ボラティリティは大きく上昇しましたが、その後は各国政府・中央銀行による大規模な景気刺激策や金融緩和を受けて、市場

は落ち着きを取り戻し、ボラティリティは低下しました。2022年は、大統領選挙への警戒感からボラティリティは上昇傾向となりましたが、大統領選挙後は、市場の警戒感も和らいだことでボラティリティは低下傾向となりました。2024年前半以降は、ブラジルの財政悪化懸念などが警戒され、ボラティリティは上昇しました。

- ※1 オプションプレミアム（※2）が織り込んでいる通貨の対円為替レートのボラティリティ（予想変動率）で、ボラティリティが高いほどオプションプレミアムは高くなります。
- ※2 オプションの買い手が売り手に支払う対価。

## 信託期間中の運用方針

### ■当ファンド

主として、「ブラジル・ボンド・ファンド（ $\alpha$ 50クラス）」の受益証券への投資を通じて、ブラジル・レアル建債券への投資と通貨のオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、オプションプレミアムの獲得ならびに信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

- ※ブラジル・ボンド・ファンド（ $\alpha$ 50クラス）：UBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ダイワ・ブラジリアン・レアル・ボンド・ファンド（ $\alpha$ 50クラス）（2024年3月に名称変更の約款変更を行いました。）

### ■ブラジル・ボンド・ファンド（ $\alpha$ 50クラス）

主として、ブラジル・レアル建債券に投資し、通貨カバードコール戦略を構築することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。債券ポートフォリオにつきましては、ブラジル政府や政府関係機関等が発行する名目債（一般に割引債と利付債をいいます。）ならびに物価連動債に投資します。ポートフォリオの修正デュレーションおよび種別構成については、金利や物価の動向、経済状況や市場環境等に応じて柔軟に変化させます。

### ■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## 信託期間中のポートフォリオについて

(2015.1.26~2025.1.17)

### ■当ファンド

当ファンドは、「ブラジル・ボンド・ファンド（α50クラス）」と「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」に投資するファンド・オブ・ファンズです。信託期間を通じて「ブラジル・ボンド・ファンド（α50クラス）」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

### ■ブラジル・ボンド・ファンド（α50クラス）

債券ポートフォリオは、ブラジル国債で運用しました。

通貨カバードコール戦略を構築し、オプションプレミアムの獲得をめざしました。

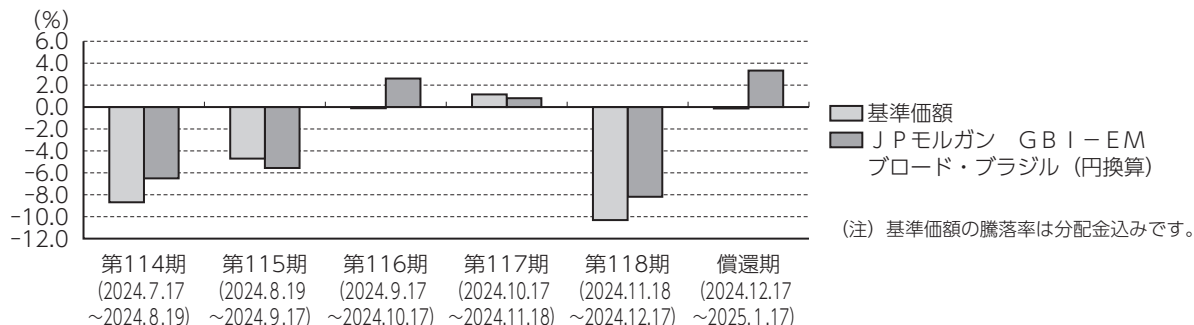
### ■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当作成期における当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

1万口当り、第1期～第9期各120円、第10期～第53期各80円、第54期～第76期各50円、第77期～第118期各30円の収益分配を行いました。

また、第114期～第118期の収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきました。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第114期	第115期	第116期	第117期	第118期
	2024年7月18日 ～2024年8月19日	2024年8月20日 ～2024年9月17日	2024年9月18日 ～2024年10月17日	2024年10月18日 ～2024年11月18日	2024年11月19日 ～2024年12月17日
<b>当期分配金（税込み）（円）</b>	<b>30</b>	<b>30</b>	<b>30</b>	<b>30</b>	<b>30</b>
対基準価額比率（%）	1.49	1.59	1.62	1.63	1.84
当期の収益（円）	30	30	28	30	25
当期の収益以外（円）	－	－	1	－	4
翌期繰越分配対象額（円）	2,928	2,928	2,926	2,930	2,925

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売却等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

### ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第114期	第115期	第116期	第117期	第118期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 33.16円	✓ 30.13円	✓ 28.51円	✓ 33.26円	✓ 25.46円
(b) 経費控除後の有価証券売却等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	2,476.64	2,479.05	2,480.08	2,481.06	2,482.18
(d) 分配準備積立金	448.36	449.22	✓ 448.33	445.86	✓ 448.01
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	2,958.17	2,958.41	2,956.92	2,960.19	2,955.66
(f) 分配金	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	2,928.17	2,928.41	2,926.92	2,930.19	2,925.66

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。

受益者のみなさまにおかれましては、当ファンドをご愛顧いただき厚く御礼申し上げます。今後とも証券投資信託の運用につきましては、受益者のみなさまのご期待に沿えますよう万全を期して努力する所存でございますので、一層のご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

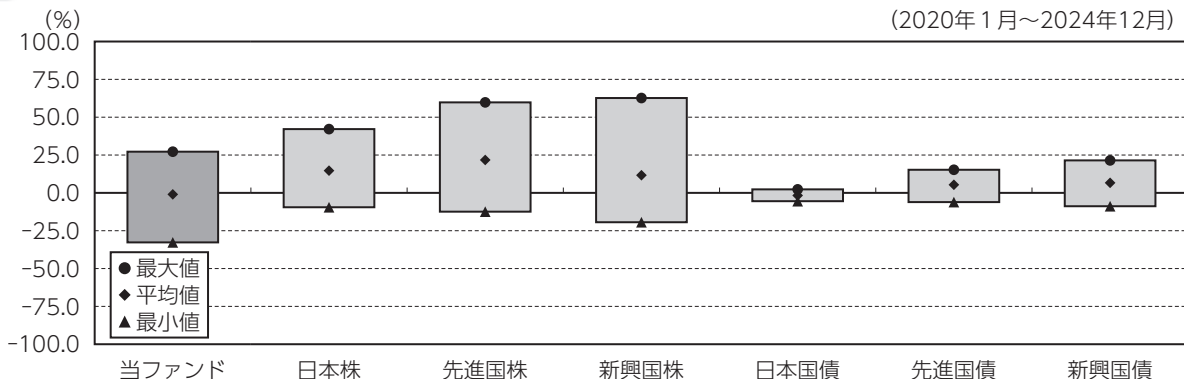


## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2015年1月26日～2025年1月17日	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いません。	
主要投資対象	当ファンド	イ. ケイマン籍の外国投資信託「UBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ダイワ・ブラジリアン・リアル・ボンド・ファンド（α50クラス）」（以下「ブラジル・ボンド・ファンド（α50クラス）」といいます。）の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	円建ての債券
当ファンドの運用方法	<p>①主として、ブラジル・ボンド・ファンド（α50クラス）の受益証券への投資を通じて、ブラジル・リアル建債券への投資と通貨のオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、オプションプレミアムの獲得ならびに信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。</p> <p>②通貨カバードコール戦略は、保有する外貨建資産の評価額の50％程度のコール・オプションの売りを行いません。カバードコール戦略の比率は、運用環境等により50％から大きくかい離する場合があります。</p> <p>③当ファンドは、ブラジル・ボンド・ファンド（α50クラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態では、ブラジル・ボンド・ファンド（α50クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。</p> <p>④ブラジル・ボンド・ファンド（α50クラス）では、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行いません。</p>	
マザーファンドの運用方法	<p>①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行いません。</p> <p>②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA－2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。</p>	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、当初設定から1年以内に分配を開始し、分配開始後は、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	



## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	27.2	42.1	59.8	62.7	2.3	15.3	21.5
平均値	△1.0	14.7	21.7	11.7	△1.7	5.3	6.6
最小値	△32.7	△9.5	△12.4	△19.4	△5.5	△6.1	△8.8

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………配当込みTOPIX

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる標準または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標準または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任を負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。（<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>）●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、JP Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。JP Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



## ファンドデータ

### 当ファンドの組入資産の内容

最終期末における有価証券等の組み入れはありません。

### 純資産等

項 目	第114期末	第115期末	第116期末	第117期末	第118期末	償還時
	2024年8月19日	2024年9月17日	2024年10月17日	2024年11月18日	2024年12月17日	2025年1月17日
純資産総額	73,376,823円	69,161,958円	68,132,139円	58,565,133円	49,533,765円	49,401,672円
受益権総口数	370,899,030口	372,803,391口	373,657,650口	322,919,753口	310,195,716口	309,739,350口
1万口当り基準価額	1,978円	1,855円	1,823円	1,814円	1,597円	1,594円94銭

\* 当作成期間（第114期～償還期）中における追加設定元本額は6,300,380円、同解約元本額は67,694,951円です。

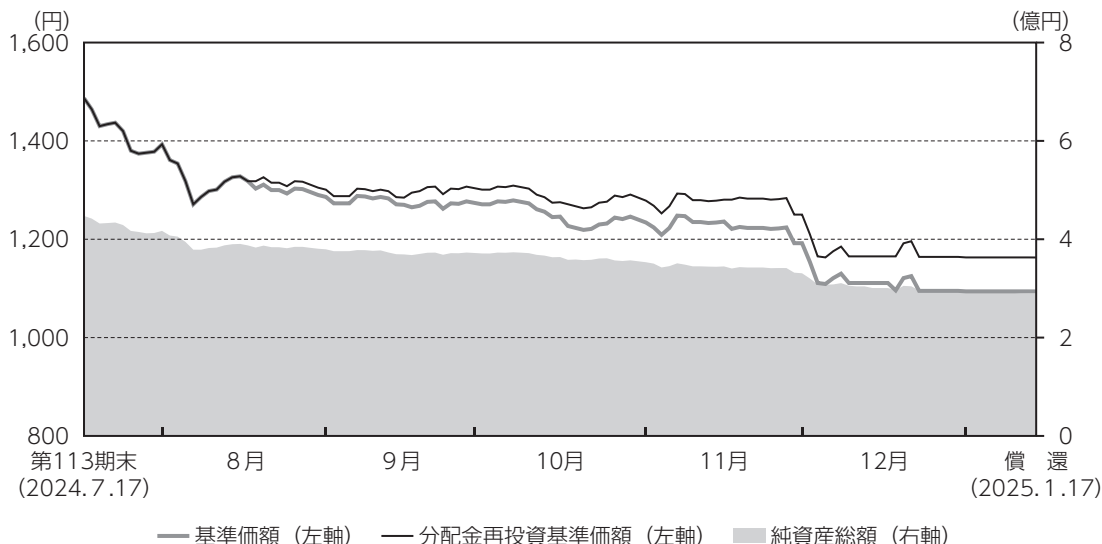
\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

α100コース



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

第114期首：1,487円

償還時：1,093円88銭（既払分配金75円）

騰落率：△21.8%（分配金再投資ベース）

#### 基準価額の主な変動要因

ブラジル・リアル建ての債券に投資し、通貨カバードコール戦略（※）を構築した結果、債券からの利息収入やオプションのプレミアム収入はプラス要因となりましたが、債券価格の下落やブラジル・リアルが対円で下落（円高）したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。

※ブラジル・リアルの円に対するコール・オプション（買う権利）を売却し、オプションのプレミアム収入の獲得をめざす戦略

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第114期～償還期 (2024.7.18~2025.1.17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	8円	0.616%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は1,233円です。
(投 信 会 社)	(3)	(0.220)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(5)	(0.386)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(0)	(0.011)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	0	0.032	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投 資 信 託 受 益 証 券)	(0)	(0.032)	
有 価 証 券 取 引 税	－	－	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	－	－	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
合 計	8	0.648	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

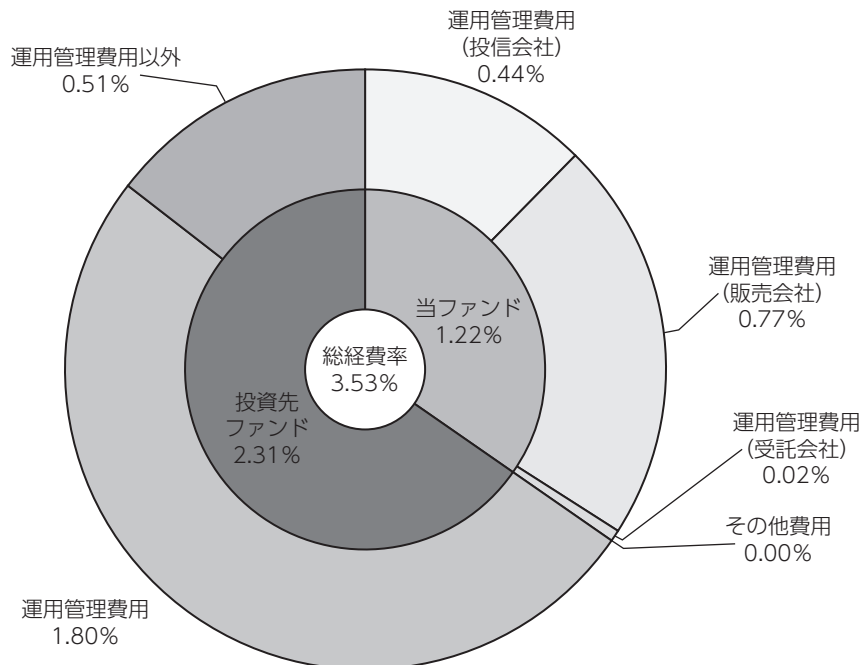
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

### ■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は3.53%です。



総経費率 (①+②+③)	3.53%
①当ファンドの費用の比率	1.22%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1.80%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.51%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

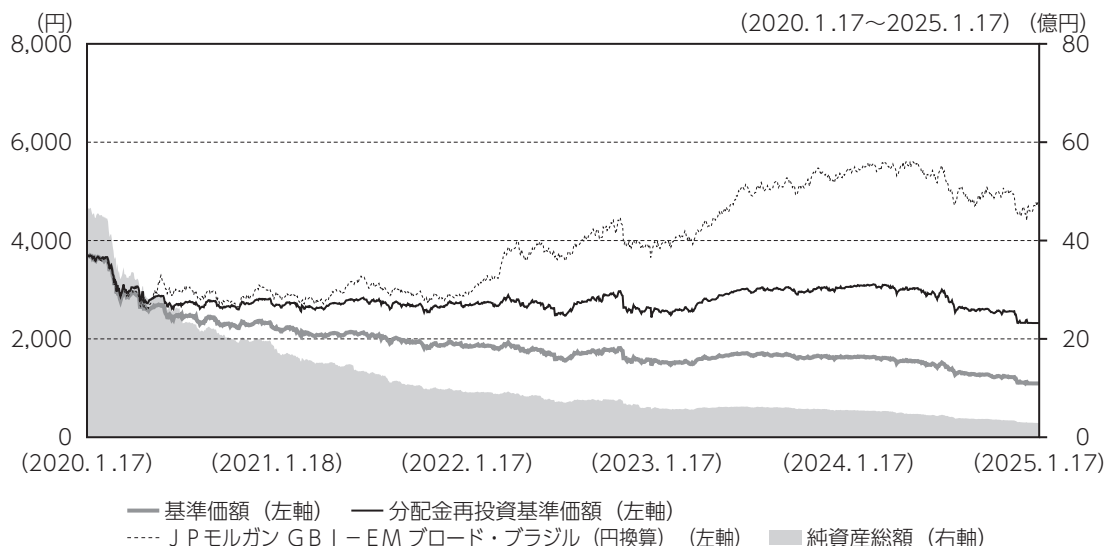
(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2020年1月17日の基準価額をもとに指数化したものです。

\*参考指数はJ Pモルガン GBI-EM ブロード・ブラジル (円換算) です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

	2020年1月17日 期初	2021年1月18日 決算日	2022年1月17日 決算日	2023年1月17日 決算日	2024年1月17日 決算日	2025年1月17日 償還時
基準価額 (円)	3,694	2,197	1,845	1,546	1,622	1,093.88
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	525	350	250	180	165
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△27.1	△0.2	△3.0	17.2	△24.0
J Pモルガン GBI-EM ブロード・ブラジル (円換算) 騰落率 (%)	—	△21.4	1.2	31.8	39.9	△13.3
純資産総額 (百万円)	4,653	1,773	910	596	548	289

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) J Pモルガン GBI-EM ブロード・ブラジル (円換算) は、J Pモルガン GBI-EM ブロード・ブラジル (ブラジル・リアルベース) をもとに大和アセットマネジメントが円換算したものです。J Pモルガン GBI-EM ブロード・ブラジル (ブラジル・リアルベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は最近で知り得るデータを使用しております。

## 設定以来の投資環境について

(2015.1.26~2025.1.17)

### ■ブラジル債券市場

ブラジル債券市場の金利は上昇（債券価格は下落）しました。

ブラジル債券市場では、当ファンド設定日から2016年初旬にかけて、政府高官を巻き込んだ大手石油会社ペトロブラスの汚職問題の発覚や、財政悪化懸念の高まりなどから、金利は上昇しました。2016年前半から2018年前半にかけては、ブラジル中央銀行が利下げを実施したことに加え、財政再建への期待が高まったことなどから、金利は低下（債券価格は上昇）しました。しかしその後は、大統領選挙に対する不透明感や、トラック運転手らによる大規模なストライキによるインフレ懸念を背景に、金利は上昇しました。2018年後半以降は、大統領選挙でボルソナロ氏が勝利し新政権への期待が高まったほか、世界的な低金利・低インフレ環境により、ブラジル中央銀行も利下げを再開したことなどを背景に、金利は低下しました。しかし2021年以降は、原油価格の上昇や新型コロナウイルスの感染拡大を背景とした供給制約などから、世界的にインフレ圧力が高まり、ブラジルでも利上げが実施されたことなどから、金利は上昇しました。

### ■為替相場

ブラジル・レアルは対円で下落しました。

当ファンド設定日から2016年初めにかけては、政治家の汚職問題や中国の景気減速懸念が高まったことなどから、市場のリスク回避姿勢が強まり、ブラジル・レアルは対円で下落しました。その後は、原油価格が底打ちし株式市場が上昇するなどリスク回避姿勢が和らいだほか、ルセフ元大統領の弾劾手続きが進展して政権交代への期待が高まったことで、ブラジル・レアルは対円で上昇（円安）しました。2017年から2020年末にかけては、国内の景気悪化懸念や米中貿易摩擦への懸念が高まったことに加え、2020年前半には新型コロナウイルスの感染拡大により市場のリスク回避姿勢が強まったことから、ブラジル・レアルは対円で下落しました。しかし2021年以降は、世界的に利上げが実施される中で日本と他国との金利差が拡大し、円安が進行したことなどから、ブラジル・レアルは対円で上昇しました。

### ■為替ボラティリティ相場

当ファンド設定日から2016年初めにかけては、政治家の汚職問題や中国の景気減速懸念が高まったことなどから、市場の警戒感が高まり、ブラジル・レアルの対円インプライド・ボラティリティ（※1）は上昇しました。2016年前半から2018年前半にかけては、株式市場が上昇したことや政権交代への期待が高まったことなどから、市場の警戒感が後退し、ボラティリティは低下しました。2018年半ばには、大統領選挙への警戒感からボラティリティは一時上昇しましたが、大統領選挙後は、市場の警戒感も和らいだことでボラティリティは低下し、その後は横ばいでの推移が続きしました。2020年前半に入ると、新型コロナウイルスの感染拡大を背景に市場の警戒感が急速に高まり、ボラティリティは大きく上昇しましたが、その後は各国政府・中央銀行による大規模な景気刺激策や金融緩和を受けて、市場

は落ち着きを取り戻し、ボラティリティは低下しました。2022年は、大統領選挙への警戒感からボラティリティは上昇傾向となりましたが、大統領選挙後は、市場の警戒感も和らいだことでボラティリティは低下傾向となりました。2024年前半以降は、ブラジルの財政悪化懸念などが警戒され、ボラティリティは上昇しました。

- ※1 オプションプレミアム（※2）が織り込んでいる通貨の対円為替レートのボラティリティ（予想変動率）で、ボラティリティが高いほどオプションプレミアムは高くなります。
- ※2 オプションの買い手が売り手に支払う対価。

## 信託期間中の運用方針

### ■当ファンド

主として、「ブラジル・ボンド・ファンド（ $\alpha$ 100クラス）」の受益証券への投資を通じて、ブラジル・リアル建債券への投資と通貨のオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、オプションプレミアムの獲得ならびに信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

- ※ブラジル・ボンド・ファンド（ $\alpha$ 100クラス）：UBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲーダイワ・ブラジリアン・リアル・ボンド・ファンド（ $\alpha$ 100クラス）（2024年3月に名称変更の約款変更を行いました。）

### ■ブラジル・ボンド・ファンド（ $\alpha$ 100クラス）

主として、ブラジル・リアル建債券に投資し、通貨カバードコール戦略を構築することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。債券ポートフォリオにつきましては、ブラジル政府や政府関係機関等が発行する名目債（一般に割引債と利付債をいいます。）ならびに物価連動債に投資します。ポートフォリオの修正デュレーションおよび種別構成については、金利や物価の動向、経済状況や市場環境等に応じて柔軟に変化させます。

### ■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## 信託期間中のポートフォリオについて

(2015.1.26~2025.1.17)

### 当ファンド

当ファンドは、「ブラジル・ボンド・ファンド（α100クラス）」と「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」に投資するファンド・オブ・ファンズです。信託期間を通じて「ブラジル・ボンド・ファンド（α100クラス）」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。

### ブラジル・ボンド・ファンド（α100クラス）

債券ポートフォリオは、ブラジル国債で運用しました。

通貨カバードコール戦略を構築し、オプションプレミアムの獲得をめざしました。

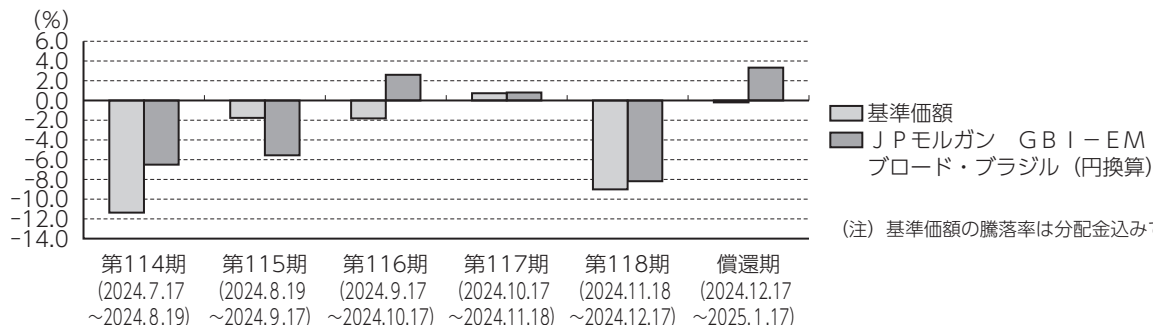
### ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当作成期における当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

1万口当り、第1期～第9期各180円、第10期～第43期各120円、第44期～第53期各80円、第54期～第66期各50円、第67期～第76期各35円、第77期～第90期各25円、第91期～第118期各15円の収益分配を行いました。

また、第114期～第118期の収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきました。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第114期	第115期	第116期	第117期	第118期
	2024年7月18日 ～2024年8月19日	2024年8月20日 ～2024年9月17日	2024年9月18日 ～2024年10月17日	2024年10月18日 ～2024年11月18日	2024年11月19日 ～2024年12月17日
<b>当期分配金（税込み）（円）</b>	<b>15</b>	<b>15</b>	<b>15</b>	<b>15</b>	<b>15</b>
対基準価額比率（%）	1.14	1.17	1.21	1.21	1.35
当期の収益（円）	15	15	15	15	15
当期の収益以外（円）	-	-	-	-	-
翌期繰越分配対象額（円）	4,942	4,958	4,971	4,987	4,997

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

### ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第114期	第115期	第116期	第117期	第118期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 30.31円	✓ 30.73円	✓ 27.51円	✓ 31.64円	✓ 24.80円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	3,731.42	3,736.73	3,742.06	3,747.63	3,753.62
(d) 分配準備積立金	1,196.21	1,206.22	1,216.63	1,223.56	1,234.22
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	4,957.95	4,973.69	4,986.20	5,002.84	5,012.65
(f) 分配金	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	4,942.95	4,958.69	4,971.20	4,987.84	4,997.65

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。

受益者のみなさまにおかれましては、当ファンドをご愛顧いただき厚く御礼申し上げます。今後とも証券投資信託の運用につきましては、受益者のみなさまのご期待に沿えますよう万全を期して努力する所存でございますので、一層のご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

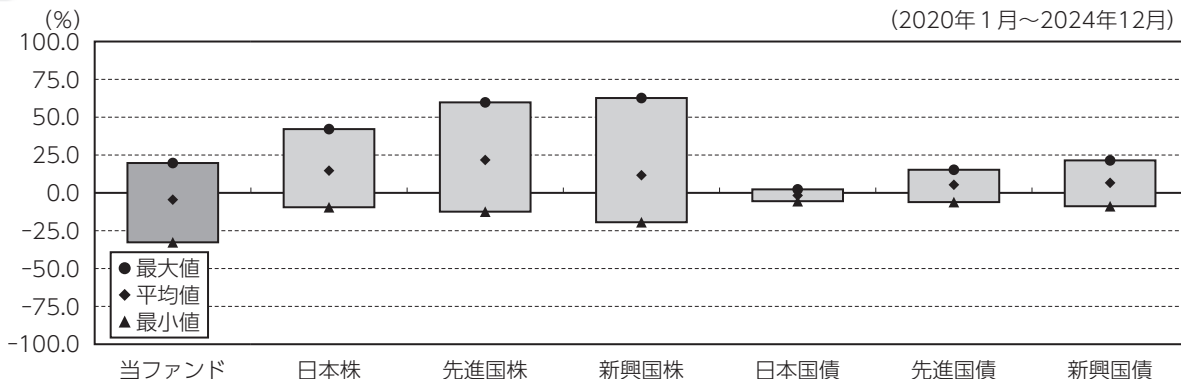


## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2015年1月26日～2025年1月17日	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	イ. ケイマン籍の外国投資信託「UBSユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅲ－ダイワ・ブラジリアン・リアル・ボンド・ファンド（ $\alpha$ 100クラス）」（以下「ブラジル・ボンド・ファンド（ $\alpha$ 100クラス）」といいます。）の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネーアセット・マザーファンド	円建ての債券
当ファンドの運用方法	<p>①主として、ブラジル・ボンド・ファンド（<math>\alpha</math>100クラス）の受益証券への投資を通じて、ブラジル・リアル建債券への投資と通貨のオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、オプションプレミアムの獲得ならびに信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。</p> <p>②通貨カバードコール戦略は、保有する外貨建資産の評価額の100％程度のコール・オプションの売りを行ないます。カバードコール戦略の比率は、運用環境等により100％から大きくかい離する場合があります。</p> <p>③当ファンドは、ブラジル・ボンド・ファンド（<math>\alpha</math>100クラス）とダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、ブラジル・ボンド・ファンド（<math>\alpha</math>100クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。</p> <p>④ブラジル・ボンド・ファンド（<math>\alpha</math>100クラス）では、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>	
マザーファンドの運用方法	<p>①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。</p> <p>②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA－2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。</p>	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、当初設定から1年以内に分配を開始し、分配開始後は、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	



## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	19.7	42.1	59.8	62.7	2.3	15.3	21.5
平均値	△4.5	14.7	21.7	11.7	△1.7	5.3	6.6
最小値	△32.7	△9.5	△12.4	△19.4	△5.5	△6.1	△8.8

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………配当込みTOPIX

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………J.P.モルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる標準または商標は、株式会社J.P.X総研または株式会社J.P.X総研の関連会社（以下「J.P.X」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標準または商標に関するすべての権利はJ.P.Xが有します。J.P.Xは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任を負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。（<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>）●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●J.P.モルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性、正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



## ファンドデータ

### 当ファンドの組入資産の内容

最終期末における有価証券等の組み入れはありません。

### 純資産等

項 目	第114期末	第115期末	第116期末	第117期末	第118期末	償還時
	2024年8月19日	2024年9月17日	2024年10月17日	2024年11月18日	2024年12月17日	2025年1月17日
純資産総額	383,090,203円	367,780,830円	358,124,773円	340,528,987円	296,675,243円	289,417,329円
受益権総口数	2,939,687,978口	2,907,098,001口	2,919,834,646口	2,788,935,803口	2,706,430,374口	2,645,793,028口
1万口当り基準価額	1,303円	1,265円	1,227円	1,221円	1,096円	1.093円88銭

\* 当作成期間（第114期～償還期）中における追加設定元本額は78,731,969円、同解約元本額は441,730,937円です。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

大和アセットマネジメント

---

Daiwa Asset Management